

学士課程教育連携委員会

平成21年度

第1回 平成22年 1月19日(火)

平成22年度

第1回 平成22年 5月10日(月)

第2回 平成22年11月24日(水)

平成23年度

第1回 平成23年12月 2日(金)

第2回 平成24年 3月 8日(木)

「岡山オルガノン」第1回学士課程教育連携委員会

日 時：平成22年1月19日（火）14時00分～

場 所：岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室

議 題：

報告事項

1 メディアを利用した教育に関する学則等の整備状況について 資料1

2 その他

協議事項

1 岡山オルガノン連携機関間における単位互換協定について 資料2

2 その他

その他

次回開催予定

第1回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会議事メモ（案）

日 時 平成22年1月19日（火）14時00分～15時07分

場 所 岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室

出席大学 14／15

欠席大学 環太平洋大学

○議事に先立ち岡山大学オフィス橋本代表から、本委員会について規程を定めていないが、進行役として、岡山大学オフィス遠山委員が仮の委員長として、本委員会の議長を務めること、橋本代表が副委員長として、進行を補佐する旨説明があった。

○出席委員（代理含む）の自己紹介を行った。

報告事項

1 メディアを利用した教育に関する学則等の整備状況について

委員長から、平成21年12月8日に岡山商科大学で行われた第1回岡山オルガノン「双方向コンテンツ委員会」において、メディアを利用して行う授業に関する規程等の整備を担当の岡山商科大学から各大学へ依頼していた旨の経緯説明があり、その後の整備状況について、各大学から報告があった。（報告内容は添付のとおり）

委員長から、4月からライブ配信を利用した遠隔授業を行うことが決まっており、関係規程未整備の大学については、単位互換事業実施のための規程を整備するよう依頼があった。

協議事項

1 岡山オルガノン連携機関間における単位互換協定について

委員長の指名により、大学教育連携センター（岡山理科大学）木村センター長から、岡山オルガノンで行う単位互換事業について、大学コンソーシアム岡山の単位互換協定を流用したい旨提案があった。すなわち、①大学コンソーシアム岡山と岡山オルガノンの構成大学は1大学のみであり、岡山オルガノンの事業は補助期間終了後、大学コンソーシアム岡山へ引き継ぐことを踏まえ、流用することが手続きの面からも短期間に行えること、②流用の可否について、木村センター長から文部科学省へ照会を行い、両事業の整合性が取れていれば、既存の単位互換協定を流用してよいことの確認を得ている旨の説明があった。次いで、木村センター長から、後日、関連大学に対して大学教育連携センターへ流用に関する同意書提出の手続きを取ることに提案があり、協議の結果、提案どおり承認された。

なお、具体的な実施の仕組みについて、一部定まっていないところはあるが、書類様式等大学コンソーシアム岡山のものをできるだけ利用すること、具体案は、双方向コンテンツ担当の岡山商科大学または、岡山大学からメール会議にて提案する旨説明があった。その他、岡山オルガノンの授業は大学コンソーシアム岡山へ提供するものではないこと、開講科目は、大学コンソーシアムとは異なる授業形態（テレビ会議システムを利用したライブ配信授業、e-learning）であること等、確認を行った。

その他

1 VOD等について

木村センター長から、次のとおり説明があった。

- 1) スケジュール，処理や募集要項は岡山オルガノンとして別に用意する。
- 2) VODについては，来年度前期は各大学へ操作説明会を行い，後期からスタートする予定である。
- 3) VODについて，まずは4つの授業科目について加計グループコンソーシアムから提供する。
加計グループの大学から受講する場合は，そちらの単位になる。教務担当で学生への指導が必要である。
- 4) 双方向については，現在予定している科目（5科目程度）から科目数を増やすつもりはない。一方，VODコンテンツについて1～2科目，各大学から提供していく。内容は，教養教育を充実させるための地域に根ざしたものを題材として選定する予定で，選定については，本委員会で行っていくことになる。
- 5) e-learning のシステムの開発は岡山理科大学で行ったが，ライセンスはすでに外部にある。したがって，システムは外部委託することとなり，各大学へ多少の経費負担をお願いすることになる。（MOMOTARO という学習管理システム（LMS）を使用する。）
- 6) テレビ会議授業についての説明は，岡山商科大学が行う。

2 FD・SDシンポジウム開催について

橋本副委員長から，3月14日（日）開催の「岡山オルガノン」FD・SDシンポジウムの案内があった。

3 次回開催予定について

次回の開催は，必要に応じて，日程調整の上，開催することとなった。



第1回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会

日 時：平成22年5月10日（月）14時00分～

場 所：岡山大学一般教育棟D棟6階 大会議室

議題：

協議事項

1. 学士課程教育連携委員会のメーリングリスト運用について
2. 後期科目の履修登録期間について 資料1
3. 来年度開講科目の履修要綱について 資料2
4. 来年度の配信科目について 資料3
5. その他

その他

1. テレビ会議システムの発信デモンストレーションについて 資料4
2. 次回開催予定

平成 22 年度第 1 回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会議事メモ（案）

日 時 平成 22 年 5 月 10 日（月） 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所 岡山大学一般教育棟 D 棟 6 階 大会議室

出席大学 13 / 15

欠席大学 吉備国際大学，中国学園大学

○議事に先立ち，岡山大学の遠山委員が委員長として選出され，議長を務めることとなった。

○平成 21 年度第 1 回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会議事メモについて，原案のとおり承認された。

協議事項

1 学士課程教育連携委員会のメーリングリスト運用について

議長から，メーリングリスト運用に関して，返信を行った際に全員に返信されるのと，元の送り主のみ返信されるのといずれがよいか，運用方針を決定したいとの提案があった。種々検討した結果，原則，返信するとメーリングリスト全員へ送信される設定とし，個人に返信したい場合は，アドレスを個人に書き換えて返信する方針とする旨，了承された。

2 後期科目の履修登録期間について

議長から，資料 1 に基づき，岡山オルガノン開講科目の後期履修受付期間が 7 月 1 日～7 月 7 日と短く，また，前期の授業期間中であるため時期が早く，学生にとっても後期の授業のことまで考えられないなどの事情があることを受け，履修受付期間を変更，若しくは，延長することについて提案があった。この後，大学コンソーシアム岡山においても，同様の問題を解決するため，現在，各大学へアンケート調査中である旨，説明があり，岡山大学オフィスから，同様のアンケートを各大学へ依頼することとした。履修受付期間の時期変更等については，開講している大学の状況を考慮し，また，学生に混乱を招くことのないよう配慮した上で，検討していくことが了承された。

補足として，大学教育連携センターから，今年度後期からは，テレビ会議システムを利用して，連携している全 15 大学が同時接続することが可能となるので，各大学から 1 名は受講生を出すことを踏まえたアンケートへの回答依頼があった。

3 来年度開講科目の履修要項について

議長から，資料 1 及び 2 に基づき，来年度の募集要項は，岡山大学オフィスで原案を作成し，本委員会で内容を審議していく旨，説明があり，了承された。また，資料 2 にある全大学の時間割調整や土日開講など，更なる工夫が求められている点を解決するために，本委員会で話し合っていくことの必要性を確認した。検討結果を決定する時期として，今年度中に各大学の了解を得る必要があることも併せて確認した。

4 来年度の配信科目について

議長から，資料 3（1 と同じ）に基づき，来年度以降配信する科目について検討していくことについて提案があり，了承された。この件は，双方向コンテンツ委員会及び e-learning

運営委員会でも検討していくものではあるが、本委員会においても、他の委員会と連携しながら検討を行うことを確認した。科目を選定する上で、例えば、受講者を増やすため、「大学コンソーシアム岡山」で実施している単位互換科目のうち、人気のある科目を岡山オルガノンでも提供してもらい、又は、岡山オルガノンの目指す学士課程教育の立場から相応しいものを提供してもらい、などの方策が挙げられた。この後、議長の指名により、大学教育連携センターから、本補助事業期間終了後も各大学で継続していけるような取組み（例えば、非常勤講師の確保が難しい科目を連携で開講する）など、どういった運用が可能かを話し合っていくことの提案があった。また、委員から、補助事業の達成目標として、受講者数や開講科目数に数値目標を設定した方が良いのではないかと提案があり、今後、同委員会において検討していくこととなった。

- 5 その他
 - 特になし

その他

- 1 テレビ会議システムの発信デモンストレーションについて

議長から、資料4に基づき、現在発信を行っている大学以外の大学から発信デモンストレーションを行う計画の案内があり、実際の講義などの発信を行うことで、操作の習熟を図り、学内等への本システムの広報にもなるとの説明があった。実施については、双方向コンテンツ委員会のメーリングリストを活用して、岡山大学オフィスから案内を送付することとなり、各大学へ参加について検討依頼があった。

→この件に関しては、後日、岡山大学オフィスと岡山商科大学オフィスとの打合せにより検討した結果、岡山商科大学オフィスがイニシアティブを取って進めていくこととなった。

- 2 次回開催予定について

次回の開催は、本日の協議事項2・3を主に協議していくこととし、メーリングリストを活用した日程調整を行った上で、開催することとした。

第2回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会

日時：平成22年11月24日（水曜日） 14時30分～

場所：岡山大学一般教育D棟1階 D11教室

テレビ会議システム設置教室（テレビ会議システムによる参加大学）

議題：

報告事項

1. 「岡山オルガノン時間」について 資料1
2. 平成22年度後期受入状況について 資料2
3. 平成22年度後期単位互換履修状況について 資料3
4. 平成23年度 岡山オルガノン科目の募集について 資料4

協議事項

1. 平成23年度 単位互換履修生募集要項の作成について 資料5, 6, 7
2. 平成23年度 広報用パンフレットの作成について 資料8
3. その他

その他

1. 次回開催予定

平成 22 年度第 2 回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会議事メモ（案）

日 時 平成 22 年 11 月 24 日（水） 14 時 30 分～15 時 30 分

場 所 岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階 D11 教室

出席大学 15 / 15（岡山学院大学，川崎医科大学は TV 会議システムでの参加）

欠席大学 なし

- 平成 22 年度第 1 回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会議事メモについて，原案のとおり承認された。

報告事項

1 「岡山オルガノン時間」について

委員長から，本年 8 月に，「岡山オルガノン時間」については，双方向ライブ配信科目のための専用時間帯をこのように称して定めることを提案し，各委員に意見の提出を依頼していたものであるが，資料 1 のとおり，寄せられた意見を取りまとめて，9 月 6 日開催の第 2 回岡山オルガノン代表者委員会で報告し，引き続き検討を行うこととなった旨の報告があった。

2 平成 22 年度後期受入状況・単位互換履修状況について

委員長から，資料 2 及び 3 に基づき，今年度後期の単位互換履修生受入状況及び単位互換履修状況について，報告があった。

3 平成 23 年度岡山オルガノン科目（この名称については協議事項の「その他」参照）について

委員長から，平成 23 年度岡山オルガノン科目について，資料 4 のとおり，各大学へ科目提供依頼を行っている旨，報告があった。

協議事項

1 平成 23 年度単位互換履修生募集要項の作成について

委員長の指名により，各大学から，各大学へ検討依頼した単位互換履修生募集要項に関する「事前の問い合わせ事項」に対して，別紙資料のとおり，順次報告があった。その後，意見交換を行い，各大学からの意見を踏まえ，岡山大学オフィスが原案を作成することで，承認された。

2 平成 23 年度広報用パンフレットの作成について

委員長から，資料 8 に基づき，平成 23 年度開講科目の内容（科目名，担当教員名，単位数・開講日時等）を載せたパンフレットを作成し，各大学が年度初めに実施するオリエンテーション等を利用して，連携校の全学生に配付したいとの提案があり，検討の結果，提案のとおり承認された。関連して，佐藤委員から，パンフレット作成に要する経費については，現在，各大学に中間監査を依頼しているところであり，その結果，各大学への配分額の残額に余裕があれば，その中から印刷経費を支出願うことも考えているとの説明があった。

3 その他

委員長から，岡山オルガノンで開講する単位互換授業科目を，「岡山オルガノン科目」と称することについて改めて提案があり，検討の結果，提案のとおり承認された。

次に、榑原委員から、後期のVOD科目の試験はどのように実施されるのかとの質問があり、佐藤委員から、以下の説明があった。

試験実施の詳細については、授業担当教員へ問い合わせを行っているところである。また、e-learning運営委員会での議論を踏まえ、試験問題用紙と解答用紙は受入大学が印刷して、受講生の所属大学へ送付すること、試験の実施日は学生の所属大学が決定することとして調整しており、成績通知日程については、12月上旬に各大学へ連絡できるよう、連携校へ照会を行っている。

その他

1 次回開催予定について

次回の開催は、日程調整を行った上で、開催することとした。

(資料) 事前の問い合わせ事項に対する各大学の回答

□ □ 来年度の募集要項を作成するにあたり□ 今年度の募集要項をもとにしたいと考えております。このため今年度の募集要項において□ 追加・削除した方がよい点□ お気づきの点などがありましたら□ ご指摘頂きますでしょうか。

□ □ 岡山大学□

履修願にライブ配信科目・VOD 配信科目の別を記載してはどうか。

VOD 配信科目の受講方法について ID・パスワードの通知方法も記載するというのはどうか。

□ ノートルダム清心女子大学□

募集期間の延長は行わない方がよい。

□ 川崎医療福祉大学・環太平洋大学・吉備国際大学岡山理科大学・岡山県立大学・岡山学院大学・岡山商科大学・川崎医科大学・倉敷芸術科学大学・くらしき作陽大学・山陽学園大学・就実大学・中国学園大学□

なし。

2. 履修願を提出する際、提供大学によっては写真の添付が求められています。写真の添付が必要である大学では、履修願・身分証明書・学籍簿用に必要であるため、という場合があります。しかしながら、写真の添付を行う事で、履修願を出す際のハードルをあげてしまい、履修希望者が増えない原因になっているのではないか？ という指摘もあるようです。

このため、写真の提出を省略あるいは減らすことで、履修手続き自体を簡略化することが可能でしょうか。

一 (岡山大学)

本学では写真の添付を求めているが、受入大学側で必要な場合、電子化されている写真を提出することは考えられる。

(岡山理科大学)

受講における本人確認の厳格な実施のため、写真は必要。

(岡山学院大学)

写真一枚の提出を必須と考えている。

(環太平洋大学・川崎医科大学)

写真は必要。

(岡山県立大学・川崎医療福祉大学・吉備国際大学)

写真添付は不要。

(岡山商科大学・就実大学)

学内で検討できていない。

(倉敷芸術科学大学)

学内で正式決定していないが、写真は必要ではないか。

(くらしき作陽大学)

簡略化の方向で進めることは可能。ただ、学生証のコピー等、写真に代わる本人確認の手法の検討が必要。

(山陽学園大学)

簡略化の方向で進めてもいいのではないか。

(中国学園大学)

本人確認のため、現状のまま3枚写真は必要。

(ノートルダム清心女子大学)

遠隔講義であることから、岡山オルガノンについては写真不要とすることはできる。ただ、履修希望者が増えない原因が写真の必要枚数にあるとは言えないのではないか。

3. 各大学で、「履修要項どおりに教養／専門科目として扱う」か「各大学、あるいは各学部等ごとに、独自に区分を決めている」か、確認させて頂きたいと思います。

一 (岡山大学・岡山理科大学・岡山県立大学・くらしき作陽大学・山陽学園大学・中国学園大学・ノートルダム清心女子大学)

学部・学科の判断による。

(岡山学院大学・岡山商科大学・川崎医科大学・川崎医療福祉大学・環太平洋大学・吉備国際大学・就実大学)

教養科目として取り扱う。

(倉敷芸術科学大学)

提供大学における取扱いと同一としている。

□ □ 履修科目登録の単位数上限が設定されている大学の場合 □ オルガノン科目は □ その上限に含まれるでしょうか。

一 (岡山大学・岡山学院大学・川崎医科大学・川崎医療福祉大学・環太平洋大学・吉備国際大学・倉敷芸術科学大学・就実大学・ノートルダム清心女子大学)

上限単位数に含まれる。

(岡山理科大学・岡山県立大学・くらしき作陽大学・中国学園大学)

上限単位数に含まれない。

(岡山商科大学)

上限単位数に含まれる(4年生を除く)。

(山陽学園大学)

1・2年生のみ上限単位数に含まれる。

5. 来年度も各大学の学生に対し、オルガノン科目の広報用パンフレットを配付したいと思います。オリエンテーションなどでの配付が可能かどうか、また、可能であるならば何時頃までの納品が必要か、おおよそで結構ですので、お知らせ頂けますでしょうか。

一 (岡山大学・岡山理科大学)

未確認。

(岡山県立大学)

オリエンテーション等で配布が可能。

(岡山学院大学)

3月20～25日の納品であれば可能。

(岡山商科大学)

3月頃の納品であればありがたい。

(川崎医科大学)

配布は可能。

(川崎医療福祉大学)

学生便覧に掲載しているのので、不要。

(環太平洋大学)

3月22日までに納品。

(吉備国際大学)

4月1日までに納品。

(倉敷芸術科学大学)

3月中に納品。

(くらしき作陽大学)

3月25日までに納品。

(山陽学園大学)

3月20日頃に納品。

(就実大学)

3月半ば頃までに納品。

(中国学園大学)

3月25日の夕方5時までに納品。

(ノートルダム清心女子大学)

3月23日までに納品。

第1回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会

日時：平成23年12月2日（金曜日） 15時～

場所：岡山大学一般教育D棟6階 大会議室

議題：

報告事項

1. 平成23年度単位互換履修生の受入状況について 資料1
2. 平成23年度前期科目の授業アンケートについて 資料2

協議事項

1. 平成24年度 岡山オルガノン科目の提供依頼について 資料3
2. 平成24年度 募集要項の作成について 資料4, 5
3. 平成24年度 岡山オルガノン科目の広報について 資料6
4. その他

その他

1. 来年度の事業継承について

第2回「岡山オルガノン」学士課程教育連携委員会

日時：平成24年3月8日（木曜日） 10時～11時30分

場所：岡山大学一般教育D棟1階 D11教室
各大学のテレビ会議システム受信教室

議題：

報告事項

1. 今年度の単位互換履修状況について
2. その他

協議事項

1. 平成24年度オルガノン科目募集要項について
2. ポスター・チラシによる来年度科目広報について
3. 大学コンソーシアム岡山への組織継承について
4. その他

その他

1. その他